令和５年度　学校経営計画

にしみたか学園
三鷹市立第二小学校
校　長　　髙嵜 浩三

１　にしみたか学園、学園経営方針

にしみたか学園の教育目標	地域に根ざし、自らの生き方を主体的に切り拓き、創造性あふれ、国際色豊かな児童・生徒の育成を目指す。
目指す児童・生徒像	○自ら考え、行動し、自ら未来を切り拓いてく児童 ○失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていく児童
基本方針	○確かな学力の定着　○豊かな心の育成　○健康・体力の増進　○協働する学園

２　学校の教育目標　経営方針の柱

児童、教員、保護者・地域、みんなが楽しいと感じる学校、ウェルビーイングを目指して

みんなで作る　みんなの学校！　みんなが楽しむ　みんなの学校！

平和的・民主的な社会をつくりあげていく自主的態度をもち、たくましく創造性に富んだ情操豊かな人間を育成する。

◎　**考える子**　　自ら学び、基礎基本を身に付け、知識・技能等を主体的に活用する。
自ら課題を発見し解決する。

○　**思いやりのある子**　　多様な人々との関わりや協働　新たな価値を創造する。

○　**健康な子**　　心身ねばり強くかつ柔軟な発想で人生を切り拓いていく。

具体的な取組等

児童の「楽しい」を原動力に！　楽しいを実感できる教育活動を推進する！

	＊＊＊主な取り組み＊＊＊
◇学力向上（主体的に学ぶ）	
・授業改善　主体的・対話的で深い学び	○　わかる授業、主体的に考える学習
・学びの基盤となる学級経営の充実	○　学年・学級の時間の確保、学年で取り組む学級経営
・基礎・基本の確実な定着	○　朝学習・補充学習・地域未来塾等の活用による学力補充
・家庭学習の定着	○　タブレットを活用した個別最適化された学習
◇健康教育・体力向上（目標に向かって）	
・体力調査を基にした健康教育	○　一校一取組における目標設定　ランニング・なわとび
・体育の授業改善	○　乗り入れの活用、基本指導の共通化、学習カード工夫
・オリンピック・パラリンピック教育の継続	○　レガシーとしてのオリパラ教育の取り組み
・食育	○　栄養士、委員会等と連動した食育の推進
◇豊かな心の育成（共に生きる・チャレンジ）	
・特別活動の充実	○　目標、役割を明確にした学校行事の実践
	○　キャリアパスポートの活用した振り返り
・居心地のいい学級づくり	○　QU（より良い学校生活と友達作りのためのアンケート）の実施と活用
・自尊感情・自己肯定感の醸成	○　いじめの未然防止と迅速な組織対応
・教育支援の充実	○　さくら木教室機能の効果的活用とUDを意識した支援
・交流活動の工夫と充実	○　異学年交流、異年齢交流（保・幼・小・中 等）の充実
◇地域・家庭等と連携・協働（チャレンジ）	**ＣＳ，保護者との連携（熟議、サポート等）**
・地域学習における地域人材の活用	○　総合的な学習の時間におけるゲストティーチャー
・生き方キャリア教育の地域との連携	○　キャリア職業に関する学習での地域との連携、充実
・学習サポートの活用	○　「学習サポート」のシステムづくりと積極的な活用
・保護者・地域との連携	○　学校公開等保護者・地域が参観しやすい環境の設定
・ボランティア活動の推進	○　地域行事等への児童の受け入れ。活躍場の提供
◇学校三部制における学校の役割	**学校での出会いを二部、三部につなげる**
・児童と地域の出会いの場	○　地域行事への参加、ボランティアのきっかけ作り
・保護者と地域の出会いの場	○　交流会の実施、二小関係者会議の実施
・児童と外部専門家との出会いの場 保護者、地域への広がり	○　二部における連携したイベントの開催 ○　三部でのサークル活動への発展
◇働き方改革の推進等	
・学校運営の改善、効率化	○　計画的で効率よい会議運営、校務推進
・居住地における活動、行事への参加	○　自らの経験を授業や地域連携に生かす

✿　**「チーム学年・チーム二小」**
- 全教員で全校の子どもを育てる！
- 学年で学級経営に取り組む
- 職層に応じた役割の理解
- 根拠に基づいた OJT の推進

✿ **常に何のためを忘れずに**

教育活動のねらい、目的を共通理解して児童の指導にあたるとともに、児童にも意図が伝わるようにする。
- 目的と相手を明確に
- 自己決定に基づいた実践、創意工夫